



第51回 鳴沢村民体育祭り 10月1日

聖火ランナーは、第60回山日YBS杯少年野球南都留地区大会において、31年振り2度目の優勝を果たした鳴沢村スポーツ少年団野球部の皆さんでした。

2023
No.54

令和5年11月1日発行

9月定例会

- 歳出総額31億3,599万円を認定 (令和4年度決算) …………… P2~5
- 一般会計補正1億1,570万円
小学校・保育所への防犯カメラの設置を承認 など …… P6~10
- 委員会活動 …………… P11~12
- 議員レポート 町村議会広報研修会 …………… P12
- 一般質問 村政を問う!! …………… P13~15
- 村長へ要望書を提出 …………… P16
- 議会だよりモニター通信 …………… P17
- 村民の声「鳴沢村のシラベと水は、精油作りに最高」 …………… P18

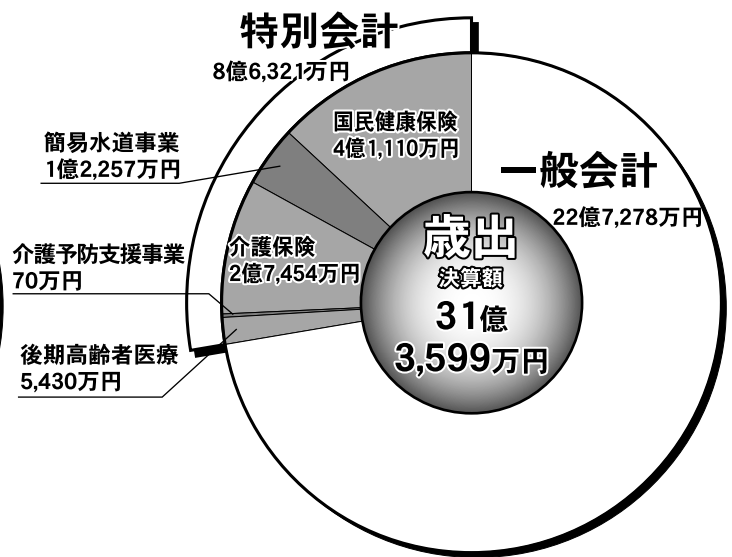
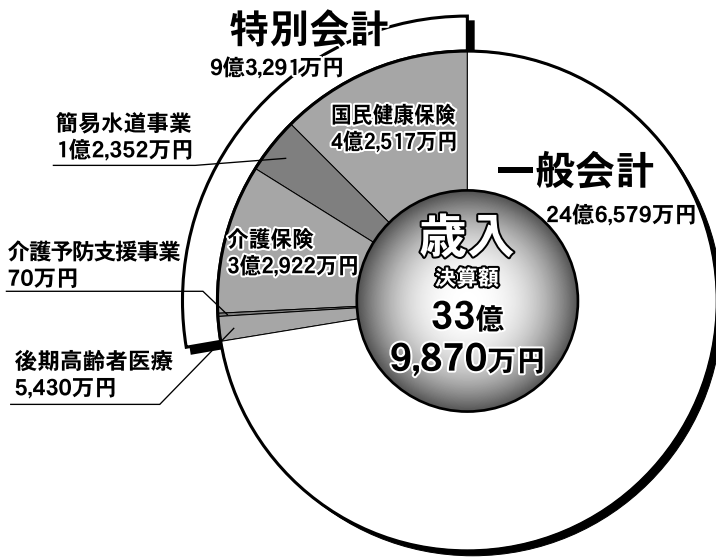
令和4年度決算

認定

歳出総額31億3,599万円を

一般会計・特別会計決算額

(万円未満四捨五入)



● 全会計を審査 ●

「令和4年度決算認定」について、2日間にわたり委員会を開催した結果、いずれも賛成全員にて原案のとおり認定しました。

令和4年度は、寄付金を活用し、生き生き広場へ大型遊具が新設されたほか、道の駅なるさわでは、休憩室とインフォメーションの空気入替機能付きエアコンの更新、物産館の床改修工事、電気自動車急速充電器の更新がされました。その他、県補助金を活用し、小学校へ電子黒板機能付き大型モニターが導入されました。(詳細はP4~5に掲載)



生き生き広場に設置された新しい遊具

● 監査委員意見要旨 ●

監査委員 梶原実・三浦直樹

決算の諸係数は正確であることを確認

当村においては、社会保障費などが増加する一方、自主財源の根幹である村税収入が新型コロナウイルス感染症の影響を受けている事業者の家屋・償却資産減免特例の終了等により、経常一般財源は増加しているが、村内の基準地価の下落傾向は続いており、村税の6割を占める固定資産税の減収が懸念される。

活き活き広場への 遊具新設等

決算審査のおもな議論

子ども家庭センター

問（三浦秀康） 子ども家庭センターを令和6年度から設置とあるが、これまでの取り組み状況は。

答（福祉保健課長） イメージとしては、新しくハコモノを作るのではなく、組織体制を強化し子育てをサポートしていくこととなる。母子保健分野の子育て世代包括支援センターと福祉分野の子ども家庭総合支援拠点を一体化することは、国から努力義務としてあげられている。鳴沢村は小規模自治体で元々情報共有を密にしているため、本来の目的は達せられているが、6年度に向けてさらに情報交換や会議を開催し、子ども家庭センターの設置に向け取り組んで行く。また、富士北麓地域の市町村で情報共有のため、交流会を実施している。

健康づくり事業

問（小林昭一） 健康づくり事業の執行率が41.7%と低いのはなぜか。この事業の今後の予定は。

答（福祉保健課長） 執行率が低い原因は、新型コロナウイルス感染症の影響により、たっしゅまつりの規模を縮小し、講師料等の支出がなかったことによる。コロナ禍は個別指導や中止していたものがあったが、今後は、コロナが5類になったことにより、コロナ以前のように集団での教室を行うなど、規模を拡大してやっていきたい。健康増進計画において住民アンケートを実施しており、住民ニーズを踏まえ健康増進に力をいれていきたい。

体育施設の安全対策

問（土屋文明） 高齢者のみの少人数での利用時等における急な事故等への対策は。急な事故等に対するマニュアルの作成を検討してもらいたい。

答（教育課長） そこまでしっかりとした対策ができていない体育施設は少ない。他市町村の対策状況をみながら、検討していく。

消防団出動手当

問（渡邊明雄） 出動手当は、1回の出動につき1,000円は何年前からなのか。他市町村では8,000円というところもある。

答（総務課長） 出動手当は、40年以上変わっていない。他市町村の8,000円は、火災等の災害対応の出動手当だと思われる。災害対応の出動手当は見直しを行っていく。また、通常の出動手当についても近隣の市町村をみながら見直しを行っていく。

学校給食運営事業

問（三浦雄一郎） 令和3年度に給食調理業務委託を開始され、現在の調理員の体制はどうなっているか。業者との協議会があるのか。業者が倒産したときにカバーできる体制ができていないか。また、清掃等委託しているが、時期と回数は。

答（教育課長） 調理員は3名体制に栄養士が補助でつく形になっている。また、業者との協議会はないが、倒産等により給食が提供できなくなるような業者と協議していく。清掃は、調理室やランチルームを衛生的に保てるよう給食室清掃業務を委託しており、年に1回、8月に実施している。調理員の普段の清掃では手の行き届かないフード清掃、高所の換気扇清掃等を実施している。

※15件の質疑がありましたが、そのうち5件を掲載しています。

村当局には、事業を実施してただ終わるのではなく、事業の目的を明確にして実績や成果を把握し、課題・問題点を抽出したうえで次年度以降の計画に活かすというサイクルを確立し、村民の福祉向上に寄与するよう求めました。

令和4年度は

こんな事業が行われました！

(万円未満四捨五入)



生き生き広場へ遊具を新設 2,273万円

寄付金を財源に、生き生き広場へ大型遊具が新設されました。併せて道の駅第3駐車場からの進入路の新設工事が実施されました。



道の駅 物産館床改修工事 517万円

擦り切れ剥げていた床を改修し、併せて感染症対策のため、動線を見直し、入口と出口を分けました。



道の駅 休憩室・インフォメーション エアコン更新 479万円

交付金を活用し、感染症対策のため、空気入替機能付きエアコンに更新されました。



電気自動車 急速充電器入替

428万円

旧機種 of 保守が令和3年12月をもって終了することに伴い、新たな急速充電器に入替えが行われました。



武道館内トイレ洋式化

275万円

交付金を活用し、武道館内の男子トイレ1台、女子トイレ2台の洋式化が行われました。



保育所 コドモン導入

114万円

リアルタイムで園児の様子（検温、午睡、排便、食事）を保護者と共有出来るようになりました。



小学校に電子黒板機能付き 大型モニターの導入

155万円

補助金を活用し、電子黒板機能付き大型モニターが2台導入されました。

小学校・保育所への 防犯カメラの設置を承認

今定例会では、令和4年度の決算認定や財政健全化判断比率などの報告をはじめ、補正予算、人事案件のほか、議会へ提出された請願の採択、国への意見書提出など合計12議案が提案され、慎重に審議した結果、いずれも賛成全員にて原案可決しました。

補正予算審議では、小学校・保育所への防犯カメラの設置、生き生き広場への子ども向け遊具、大人向け健康遊具の設置や村内において製造業等の立地事業を行う者に対し助成する産業集積促進事業助成金などが

可決されました。

また、会期中には、令和4年度の決算審査を踏まえて、議会から村長へ提案する「政策提言・要望」の協議も行いました。

（詳細はP16）

最終日には一般質問に4名の議員が登壇し、避難路の確保や、ふるさと応援寄附基金の活用方針、高齢者への振り込め詐欺などの防犯対策など、さまざまな角度から村の姿勢を問いただしました。

（詳細はP13～15）



防犯カメラ設置予定の小学校と保育所

補正予算

一般会計 1億1,570万円を追加し、予算総額は23億7,931万円に

おもな使いみち

- 産業集積促進事業助成金 …… 7,128万円
- 富士山荘ふるさと・併設ショートステイの改修工事補助金 …… 1,840万円
- 活き活き広場へ大人向け健康遊具 … 500万円
- 村道643号線測量設計業務委託 …… 316万円
- 道の駅なるさわ電話機器更新 …… 171万円
- 小学校ICT環境構築調査・設計業務 … 158万円
- 小学校創立150周年記念事業 …… 138万円
- 小学校電子黒板導入 …… 117万円
- 小学校へ防犯カメラの設置 …… 99万円
- 活き活き広場へ子ども向け遊具 …… 92万円
- 保育所へ防犯カメラの設置 …… 81万円

おもな財源

- 純繰越金 …… 8,402万円
- 山梨県介護基盤整備等事業費補助金 …… 1,840万円
- ふるさと応援寄附基金 …… 569万円
- 「ちょいトレ」プロジェクト推進事業費補助金 …… 500万円
- 令和のやまなし教育活動モデル推進事業費補助金 …… 392万円
- 山梨県警察防犯カメラ設置促進事業補助金 …… 67万円
- 鳴沢小学校創立150周年事業寄付金 …… 30万円

(万円未満四捨五入)

※純繰越金

前年度予算において、決算における不用額(剰余金)



引き続き、村の財政はともに「良好」です

令和4年度 普通会計財政健全化判断比率

令和4年度決算に基づき、財政健全化判断比率が監査委員の意見を付して報告されました。

本村はいずれの数値も早期健全化基準を下回っており、健全な財政が保持されています。

●実質赤字比率

- 9.86% (早期健全化基準 15%)

普通会計における、実質赤字の標準財政規模(標準的な収入額)に対する比率です。

●連結実質赤字比率

- 14.06% (早期健全化基準 20%)

すべての会計における、実質赤字の標準財政規模に対する比率です。

●実質公債費比率

- 2.20% (早期健全化基準 25%)

公債費(借金の返済額)や、これに準じる額の標準財政規模に対する比率です。

●将来負担比率

- 341.3% (早期健全化基準350%)

将来負担すべき額の標準財政規模に対する比率です。

健全化判断比率のうち、1つでも早期健全化基準を超えた場合は「財政健全化計画」を定めて健全化に努めなければなりません、本村はいずれの数値も良好です。

令和4年度 水道事業会計資金不足比率

水道事業会計(簡易水道事業)の資金不足比率も同様に報告されました。

資金不足比率とは、資金不足額の事業の規模に対する比率で、資金不足比率が

経営健全化基準を超えた場合は「経営健全化計画」を定めて健全化に努めなければなりません、本村は赤字となっていないため良好な状態にあります。

おもな条例改正

軽自動車税の減免対象に身体障がい者等の本人運転が追加

鳴沢村税条例の一部改正

山梨県県税条例の一部改正により、自動車減免対象に精神障がい者・知的障がい者の本人運転が対象になったことに伴い、軽自動車税の減免対

象に身体障がい者等の本人運転を含め、令和6年1月1日から適用できるように、所要の改正を行いました。

[担当:税務課]

放課後児童支援員の資格要件が変更

鳴沢村放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

放課後児童健全育成事業の内容について定める通知が、本年4月12日付けで改正され、4月1日から遡及適用されたことに伴い、放課後児童支援員の資格要件における

経過措置に、研修計画を定めたいうえで、業務に従事することとなった日から2年以内に研修を修了する予定の者と規定するため、所要の改正を行いました。

[担当:教育委員会]

人事

教育委員会(※)委員の九川和年氏が9月30日で任期満了となるため、次の方の任命に同意しました。

任期は4年間となります。

※教育委員会

教育長と4人の委員で組織する合議制の執行機関で、性質上首長から独立している。公立学校その他の教育機関を管理し、学校の組織・教育課程・教職員などに関する事務を取り扱うほか、社会教育・文化財・スポーツなどに関する事務を管理、執行する。



渡辺 宏之 氏

意見書を国へ提出

「加配定数の振り替えによらない小学校35人学級の実施、中学校での35人学級の実施、教職員定数改善、及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願」を採択し、意見書を提出

- 請 願 者 南都留地区PTA協議会 会長 菊地 雅章 ほか 3 団体
- 議 案 提 出 者 渡辺 次男
- 意見書提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、文部科学大臣、財務大臣、総務大臣

〈意見書要旨〉

- 1 小学校の35人学級実施に当たっては、加配定数の振り替えではなく、教職員定数の実質的な増員で行うこと。また、中学校への35人学級を実施すること。
- 2 学校の働き方改革・長時間労働是正を実現するため、加配の増員など教職員定数改善を推進すること。
- 3 教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、義務教育費国庫負担制度の堅持とともに国負担割合を2分の1に復元すること。
- 4 教育条件の格差解消を図るため、地方交付税を含む国における教育予算を拡充すること。



現場の声を吸い上げ

村の特産品がなくなる。 村の支援や協力を！

9月1日にブルーベリー関係者(ブルーベリー生産組合長をはじめ婦人部の皆さま、ブルーベリー応援隊、河口湖商工会)との座談会を開催し、ご意見やご要望などをお伺いしました。



ブルーベリー関係団体の皆さまからは、おもに次のようなご意見やご要望をいただきました。

- ◆ ブルーベリージャムなどを山道ホールで加工しているが、食品衛生上の規定により、令和6年4月以降に山道ホールでの加工ができなくなり、ジャムの商品化が継続できない。
- ◆ 農業従事者が高齢化(平均年齢74歳)や人手不足で摘み取りきれないブルーベリーが年間約23トンもある。
- ◆ 全てブルーベリーの摘み取りができたとしても、全てをすぐに加工できる業者がいなく、各農家が冷凍庫で保存しているが、保存しきれない。



- ◆ 道の駅にも生のブルーベリーを出品しているが、常温販売のため販売期間が1日のみとなっており、売れ残りは廃棄されている。冷蔵であれば1週間は販売期間が延びるため、冷蔵ショーケースを導入してもらいたい。
- ◆ 村ではサンライム等の肥料の補助があるが、ブルーベリー農家が必要な肥料が対象となっていない。
- ◆ 村でも河口湖商工会や企業等と連携を強化し、ブルーベリーのPR活動に力をいれてもらいたい。



座談会ではこのほかにも様々なご意見がありました。

これらの内容を受けて委員会で協議し、今後もブルーベリー関係団体へ議会として何ができるか協議を継続していくこととしました。

建設産業経済常任委員会

委員長 渡辺 永幸

9月8日に、建設産業経済常任委員会を開催し、「今年度の委員会活動の内容について」を協議し、以下の項目について協議していくこととしました。

- 森林環境
- リサイクル業の注視
- 水道関係全般
- 新庁舎建設に係わること
- 獣害対策

また、「鳴沢村土地開発行為等の適正化に関する条例」に基づく土地開発行為等調整会議の報告等を行いました。

議員レポート

広報常任委員 小林 昭一

町村議会広報研修会に参加して

～ パツと伝わる広報誌に ～

9月27日東京日経ホールで行われた研修会に参加してきました。弁護士の玉置氏から著作権、肖像権などの諸問題について、実例を挙げながらのわかりやすい内容でした。メディアプランナーの白木氏からは、広報誌を手にとってもらう方法はなにか？サブタイトルの重要性についてご講義いただきました。グラフィックデザイナーの平本氏か

らはターゲットを決め、関心のある言葉遣いで興味を引き、最後まで読んでもらえる広報誌の作り方、文字のフォントの適材適所の使い方など、より住民に沿った手に取ってもらえる広報づくりの手法を学ぶことができました。今後の広報誌づくりの参考になり、紙面に生かしていきたいと思えます。ご期待ください。





三浦 雄一郎 議員

Q 西湖方面への避難経路確保は

A 足和田山(西湖方面)にトンネルを

避難経路の確保について有事の際、東方面に避難した場合、渋滞により間に合わない可能性もあり、西方面へ避難する場合の避難道路確保という点で、西湖方面へ通じる道路の必要性が不可欠なものと考えられる。

安全で迅速な避難経路の確保のためには、トンネルという方向性が見えてくるが、村長の考えは。

●村長 小林 茂澄

災害に備えての避難経路の確保は、住民や来訪者の安全を確保する上で非常に重要な問題であり、富士山噴火が起こった場合、まずは足和田山を越えた西湖方面への緊急避難が必要だと考え

ており、そのためには、迅速に避難できる足和田山にトンネルが必要だと考えている。

この防災トンネルは、平時には西湖地区と本村を短時間でつなぐことができ、日常的な住民生活の利便性の向上や地域間の交流が深まるとともに、観光客の利便性が上がり、お互いの観光スポットをつなぐことができ、地域に与える経済効果は計り知れないほど大きなものとなり、地域経済の活性化が期待できる。

このようなことから、本村と西湖地区とを結ぶトンネル実現に向け庁舎内で協議検討を重ね、山梨県及び関係機関に働きかけていきたいと考えている。



西湖文化洞トンネル



渡邊 明雄 議員

Q ふるさと納税の活用状況と今後の予定は

A 寄附者の思いに沿い積極的に基金を活用する

令和4年度のふるさと納税寄附金は約3,258万円と令和3年度より667万円増額し、ふるさと応援寄附基金は約8,907万円となった。基金が地域振興に繋がる活用が重要であるが、今まで寄附金が充当された事業効果の検証、今後の活用予定は。

●村長 小林 茂澄

ふるさと応援基金は、平成31年度から、寄附者の思いに沿った事業へ充当を行っている。鳴沢保育所や鳴沢小学校の施設整備や地域活性化の活動団体への支援、鳴沢村3世代同居等支援事業における住宅取得への補助等、文化財の保護や観光振興、村民活動の充実に資する事業が実施できた。令和5年度では、保育所への大型複合遊具の設置、鳴沢小学校、鳴沢保育所、総合センターへの防犯カ

メラの設置や生き生き広場遊具新設等へ基金を充当する。今後も、教育文化等の推進をはじめ介護・福祉の向上、産業・観光振興、生活・自然環境の向上などに資する事業に積極的にふるさと応援寄附基金を活用していく。



ふるさと納税寄附金を活用し、保育所へエアコンを設置

Q 子育て世帯への各種給付金の支給状況について

A 支給漏れがないよう細心の注意を払い給付を行った

渡邊 明雄 議員

新型コロナウイルス感染症の影響により、低所得者世帯やひとり親世帯、子育て世帯の多くが長引く生活苦に直面している中、住民税非課税世帯等に対して行われた臨時給付金等の各種支援は、必要な方全てに支給することが重要であるが、対象者をどのように把握し、実際に支給された世帯の件数、割合等は。

●住民課長 小林 昭博

対象者の把握については、要件がその給付ごとに異なるが、国の要件に基づき対象者を住民基本台帳で抽出し、税務課へ照会し所得要件から絞り込み、該当世帯を抽出し、複数の職員でチェックを行った。村単独事業分においては、村で把握する

ことが困難な19歳以上で大学生や専門学校に通う方については、防災無線や広報、ホームページ等で周知を行った。

給付実績については、令和3年度、令和4年度、令和5年度については、現時点において、給付率は100%である。





土屋 文明 議員

Q 高齢者を標的とした詐欺 防止対策は

A 情報発信強化で特殊詐欺の未然防止へ

高齢者を標的とした電話詐欺・振り込め詐欺が7月末で34件5千万円と急増、高齢者世帯や家族同居でも昼間の時間帯が危険である。県警は被害世帯の7割に留守番電話機が無かったことから、昨年より留守電装置の無料貸し出しを始めた。貸出先調査では本年の被害は無く効果が確認された。当村として高齢者の大切な財産を守っていくため詐欺防止の対策についての見解を問う。

●村長 小林 茂澄

県警によると電話詐欺被害は令和4年も1億円を超え、件数も増加し厳しい状況である。村では平成24年から富士吉田警察や富士五湖広域相談窓口と連携を図り消費生活に関する啓発活動を継続してきた。今後は、電話詐欺対策機貸出事業な

ど有効なものを広報、ホームページ等で周知するとともに、コロナ禍で開催されていなかった高齢者学級で富士五湖広域相談窓口より講師を迎え寸劇を交えながら詐欺、悪質商法について学ぶ場を増やし、更に県警の電話詐欺防止動画のCATV放映など積極的に被害の未然防止対策に努める。



電話録音装置



三浦 直樹 議員

Q 地域おこし協力隊の採用推進は

A 広報やホームページ等で受入団体を募集

平成31年より地域おこし協力隊員(以下「協力隊」)と受入団体などを募集しているが、いまだ登録がない状態。

この際、村主体で村内各団体に働きかけ、工夫して村の魅力をアピールし、採用への道筋を示してはどうか。

●村長 小林 茂澄

協力隊に係る経費は特別交付税措置されるため、自治体からすれば非常に手軽に移住者の安易な募集が行われ、人員補填のように使われてしまっているケースも多い。

定住に向けた受入れ態勢を整える必要があり、協力隊の受入れを希望する団体が、主体性を持って地域課題の解決や新たな価値の創造につながる地域協力活動を自治体や協力隊と連携して行うことが重要であり、地域創生につながる。

自治体が協力活動を調整するのではなく、受入団体が地域活動を安定的に協力隊と行うことで、隊員の活動や生活も安定すると考える。

まずは、隊員を受け入れてくれる団体を募集し、責任を持って隊員の指導や支援を行えるような態勢を整える必要があるため、引き続き広報やホームページなどで協力隊の受入団体を募集していく。

村長へ「要望書」を提出

10月5日に正・副議長が村長を訪問し、9月22日の議員協議会でとりまとめた要望書を提出しました。

地方議会には「執行機関の監視」と「政策形成」の2つの役割があります。

このことを再認識し、議会の責務として政策立案の役割を果たすべく全議員で協議し、議会の総意として要望書を提出いたしました。(内容を一部要約しています。)



1. 防犯対策について

- (1) 全職員の防災の意識や知識を向上させるための取り組みを強化していただきたい。
- (2) 消防団員数の確保が困難になってきていることや、災害が多発化・激甚化する中、消防団の役割も多様化しており、一人ひとりの負担も大きくなってきていることから、消防団員の処遇改善のため、出動手当の増額を検討していただきたい。
- (3) 消防団はJA鳴沢村の出荷場で訓練を行っているが、出荷場は照明がなく消防団備品の照明器具やポンプ車の照明で照らしているが、光量が不足しており、訓練が行いづらい状況であることから、出荷場付近の電柱等へ照明設備を整備していただきたい。

2. 教育環境について

- (1) 健やかに学習生活ができるよう、また、災害時の避難所など地域の拠点としての役割も果たせるよう、トイレの洋式化(洗浄便座式)・乾式化を行い、衛生環境を整備していただきたい。
- (2) 秋季運動会やPTA総会などの行事において駐車場が不足しているため、役場来庁者も含めた駐車場整備について必要面積の算定を行い、不足分について整備していただきたい。

3. 農業振興について

- (1) 農作物も多様化しており、必要とする肥料が助成対象でないため、支援を受けられない農業者がいる。そのため、農業者が必要な肥料を選択できるような助成制度にしていただきたい。
- (2) アライグマやハクビシンなどの野生鳥獣による農作物の被害が増えており、農業者での自衛だけでは限界がある。村で実施した猿の囲い罠のように猿以外についても捕獲対策の強化を図っていただきたい。
- (3) 村の特産品を加工している山道ホールが保健

所の許可基準も厳しくなり、このままでは来年4月以降には山道ホールでの生産ができず、消えていく特産品がでてしまうことから、村で空き家等を改修するなど特産品加工所の整備をしていただきたい。

- (4) 近年、ナラ枯れの被害が急速に拡大しているように見られる。木が枯れるだけでなく、風や雨で折れやすくなっており、人や民家などに危険が及ぶ可能性があることから、ドローンなどを活用し早期に調査し、対策を促進してもらいたい。

4. 道路について

- (1) 自転車に係る交通事故による転倒時の頭部への被害軽減及び交通安全意識の向上を図るため、ヘルメット購入費の助成を検討していただきたい。
- (2) 村では生活支援や交通施策を検討していくチームを立ち上げ、検討を行っているが、新しい公共交通の提供、交通インフラの整備のため、国等が行うモデル事業への積極的な参画を検討していただきたい。

5. 地域振興について

- (1) 鳴沢村の観光振興や移住促進のため、キャッチコピーをつくり、村外者、観光客へアピールするなど、村のイメージアップを図る施策を検討していただきたい。
- (2) 「FCふじざくら山梨」のホームタウンである鳴沢村として、もう一步踏み込んだスポーツによる地域創生となるよう連携を強化するとともに、地域一丸となって応援する体制づくりを検討していただきたい。
- (3) 魔王天神社付近のトレッキングルートは、木製階段が雨などにより破損し、急傾斜を迂回するよう案内されているが、景観や安全に配慮したトレッキングルートとして整備(修繕)していただきたい。整備(修繕)できず、安全が確保できない場合には、トレッキングルートを閉鎖するなどの方策も検討していただきたい。

議会だより

モニター通信

議会だよりモニターの皆さまから、8月発行の議会だよりNo.53について、次のようなご意見等をいただきました。皆さまからのご意見等を参考に、今後もよりよい議会だよりを作っていきたいと思います。

議員の皆さん、これからの鳴沢村のため4年間頑張ってください。

スポーツ推進の指導者の育成と、確保の記事がありました。今後、中学校の部活動も地域に移行されていくと聞いています。富士河口湖町と協力をして頂き、子ども達が変わらず活動できるようにしていただければと思います。

(40代 男性)

交通インフラの整備の記事を読んで、買い物・通院を近隣の市町村に頼っているので早急な課題だと思いました。村民の声では企業が地域のために続けてくれている活動を知り、頭が下がる思いです。地域のみinnで住みやすい鳴沢村を作っていけたらうれしいです。

(40代 女性)

各議員の方の抱負はそれぞれ個性を出しつつも住みやすく魅力のある村づくりを目指していて、これからの取り組みに期待したいと思いました。また写真も人柄が見えてとてもよかったです。

(30代 男性)

「五合目や村の境界、水道施設を視察」の記事の中で判立場に興味がありました。

江戸時代から続く郷土の歴史を大切にする為にも続けて欲しい企画だと感じ、機会があったら直接見てみたいと思いました。

(70代 男性)

新村長が、役場と社会福祉協議会で新チームを立ち上げ、高齢者の生活支援に関する研究・検討を行うとの事、注目しています。

富士登山鉄道構想も出ていますが、近隣の町や市と連携して、観光客も使い易い交通インフラが整うと良いと思います。

(70代 女性)

鳴沢には、藤原氏系の春日神社、織田信長が尊崇した魔王天神社、秦氏系の八幡神社があります。鳴沢は、上吉田の新屋地区と、歴史的關係を有するとの話もあり、古上吉田の福地八幡神社と関係があったのかもしれない。議会だよりから貰う、鳴沢史のヒントです。

(60代 男性)

鳴沢村のシラベと水は、 精油作りに最高

株式会社森の蒸留所(代表取締役 小林 守氏)からの依頼を受け、数年前からシラベの精油(香り)を蒸留しています。清々しさと甘さが混ざった深い香りを通し、林業にもっと興味を持ってもらいたいとスタートしたプロジェクトです。蒸留には欠かすことのできない水は、あき坊の水(渡辺 朗氏)のご協力



かじはら そのこ
梶原 園子



をいただいています。シラベはモミの仲間、その香りは古くから呼吸器系の不調改善やリラックスのために使われています。

「今度鳴沢へ来る時は、富士山をお土産に持って帰れるようにでっかい新聞紙を持ってこーし」。ずっと昔に父(梶原 輝旺)が知人の息子さんにかけてた言葉です。富士山を持ち帰ることはできないけれど、100%鳴沢産『富士山の森の香り』なら、日本だけでなく世界に届けることができるかも!!

そんな夢を抱いています(^^)

広報常任委員推薦! 鳴沢のおすすめ!

広報常任委員 土屋 文明

シカ肉ソーセージ

鳴沢村「ふるさと納税」の一押し



自然の恵みは、野生動物の食害と隣り合わせ。野生のシカ、ジビエの有効活用を目指し地元猟友会の皆さんの狩猟から提供されています。におい・クセ無しヘルシーな赤身肉

の紅葉ソーセージ、プレーン・チョコリソーの2種類。「道の駅なるさわ物産館で」。また村外の友人には「ふるさと納税」でお勧めしてみても!

議会からのお知らせ

傍聴してみませんか

次の定例議会は **12月中旬**に開会予定です。

傍聴可能な日程は、役場議会事務局までお気軽にお問い合わせください。

1月にCATVでも放映予定です。ぜひご覧ください。

☎ **85-2311** (内線400)

なるさわ議会だよりは、ホームページでも公開しています。また、本会議の会議録も公開していますので、ぜひアクセスしてください。

